

STOP! 精神医療センター富谷移転、
2・23 みやぎユーザーズアクション

“声なき声と共に”

Action News

アクションニュース

vol.018

2023.7.21

【毎週金曜日発行】

stop.iten223@gmail.com

県民すべてが
知らねばならないことが
語られないままです



宮城県保険医協会医療政策学習会の様子

【4病院再編】新病院の具体的方向性とは!? ...P2

- ・ 宮城県保険医協会医療政策学習会が開催されました
- ・ みやぎアピール大行動実行委員会要望書への回答

Nothing about us without us!

私たち抜きに私たちのことを決めるな!



facebook

【4病院再編】新病院の具体的方向性とは!?

宮城県保険医協会医療政策学習会が開催されました

7月19日(水)会員や医療関係者を対象に宮城県保険医協会主催の「<4病院再編>新病院の具体的方向性とは!？」が開かれ、会場とWEB併せて50名が参加しました。

講師には県保健福祉部医療政策課遠藤課長を迎え、これまで県が示してきた資料を基に新病院の方向性を40分にわたり説明しましたが、新たな進捗を示すものはほとんどありませんでした。

質疑で「一方の協議が不合意の場合、名取市の精神外来はどうなるのか？」との問いに、県からは「必要な機能は確保していく」と返答しましたが、“にも包括”をどう存続させていくのか？具体的な内容には踏み込みませんでした。

<当日の配付資料>資料1~3

資料1:仙台医療圏の医療提供体制に関するデータ分析及び課題の整理(外部環境調査)



資料2:仙台赤十字病院と県立がんセンターの統合に係る検討報告書



資料3:東北労災病院と県立精神医療センターの合築に係る検討報告書



資料4:宮城県精神保健福祉審議会(R5.5.31)説明資料



みやぎアピール大行動実行委員会要望書への回答

4病院再編統合・移転問題について仙台市及び宮城県からの回答(2023年3月に提出/2023年6月に回答書が届く)

<みやぎアピール大行動からの要望>

1. 宮城県知事が進める4病院再編統合・移転構想(県立がんセンター・東北労災病院・仙台赤十字病院・精神医療センター)は反対です。障害当事者だけではなく住民や関係団体からも強く再考及び移転反対の声が上げられています。仙台市として県に対し白紙撤回を求めてください。

<仙台市からの回答>

1. 本市としては、これまでも県に対し、政策医療に関する課題等を提示するとともに、丁寧な説明や情報共有を繰り返し求めてまいりましたが、本市が抱く疑問等に応える対応はなく、未だ説明は不十分な状況となっております。

今後も、県に対し、積極的な情報開示や、地域や医療関係者の理解が得られる詳細かつ丁寧な説明に最大限努めるよう、改めて強く求めながら、市民の命と健康を守る医療提供体制の確保に向けて、適時適切に必要な対応を取ってまいります。

<みやぎアピール大行動からの要望>

4病院(県立がんセンター・東北労災病院・仙台赤十字病院・精神医療センター)再編については白紙撤回してください。

<宮城県からの回答>

仙台医療圏の病院再編については、その実現によって、診療内容の充実・高度化による医療の質の向上につながり、また、仙台医療圏全体としてバランスの取れた配置により政策医療を前進させるものであります。

政策医療の課題解決には、地域医療の中核を担う拠点病院の経営基盤の強化による経営の安定化が重要になると考えております。また、病院の再編により病院の機能を集約化することで、診療内容の充実・高度化や、医療従事者の確保を図り、将来を見据えた持続可能な医療提供体制を確保することも必要だと考えております。

このため、県では、協議先である日本赤十字社及び労働者健康安全機構と、仙台医療圏南部及び北部の医療提供体制の充実に向け、誠実に協議を続けており、先般、確認書を取り交わし、双方、令和5年度中の合意を目指すこととしております。

県としましては、今回の再編により、政策医療の課題解決を前進させ、将来を見据えた持続的な医療の確保と地域医療の質の向上を図るため、当事者や関係者の意見を聞きながら検討を進めてまいります。